

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社センチュリークリエイティブ)

介護事業所名 (介護付有料老人ホーム あみーご倶楽部小牧)

介護保険事業所番号 (2373802160)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	aams.介護セット

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月	30台	令和5年1月	

(1) 事業概要及びスケジュール

事業概要…見守り機器導入により、利用者様の状況をリアルタイムで把握する事により、質の高いサービスの提供が可能となり、更に業務を効率化することができる。

導入スケジュール…令和4年9月申請
令和5年1月導入予定

(2) 導入する意義・目的

見守り機器導入により、介護スタッフの負担軽減へと繋げ、より質の高いサービス提供を行う。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・見守り介護業務の効率化を図り、職員の労務負担の軽減を目標とする。
- ・見守りシステムを効率的に使用することにより利用者様の状況を把握し、転落転倒事故を減らし、利用者やご家族に安心を提供し、介護サービスの向上を目的とする。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・危険動作の予兆の検知ができるようになることにより、転倒事故のリスク軽減ができるようになる。
- ・転倒、転落を検知することで、早く介助できる。
- ・訪問回数を軽減することにより、利用者様の安眠の確保がされる。
- ・介護職員の労務負担軽減により、職場環境が改善される。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

○

既に導入済み

×

見守りセンサーの製品名

aams.介護セット

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

×

既に導入済み

○

ICT機器の製品名

Apple iPad

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

×

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

ワイズマン

⑤従前の介護職員等の人員体制

利用者人数:30人 日中職員数:13人

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

利用者人数:30人 日中職員数:12人

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサー導入により、転倒等の事故が起こった場合、即座にスタッフ間の情報共有を図り、記録業務へつなげることができる。
スムーズな対応により、職員の負担軽減へつなげ、業務効率化を図る。
職員の業務軽減により、質の高いサービス提供を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者様の体調の変化を即座に察知、スタッフ間の迅速な情報共有により、質の高いサービスを提供することができる。
早朝、夜間等の人員配置が減少する場合においても、リスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、休憩時間の確保等安心して業務に当たれる職場環境の整備の実現を図る。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人長福会)
 介護事業所名 (テイパーク大府特別養護老人ホーム)
 介護保険事業所番号 (2374200489)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りケアシステム

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年3月31日	3	令和5年3月31日	

(1) 事業概要及びスケジュール

事業概要・・・ ”見守りケアシステムM1” 介護ロボットの導入により業務の補助、効率化を図り業務負担の軽減を図ります。またご利用者様の安全をより確保することで事故の発生防止の取り組みを行って参ります。
 導入スケジュール・・・ 当該助成金の採択後、諸手続きを経て、導入し使用対象者に説明を行った上で使用開始していきます。

(2) 導入する意義・目的

- ①居室内でのベッドからの転倒・転落事故等の削減
- ②介護の労力の削減
- ③介護職員の離職率の軽減

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ①転落、転倒事故の防止や予防 (軽減)
- ②センサー誤報による駆け付け頻度の減少
- ③ナースコール等がご利用できない方への事故の予防

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ①ご利用者の転落・転倒事故の削減
- ②誤報が少ないセンサーの利用により、介護労働力の削減を図り介護の負担の軽減を図る。
- ③生活のリズムの把握により適切なケアの充実
- ④職員の精神的、身体的ストレスの軽減
- ⑤ご利用者様の安心・安全の確保

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人寿宝会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム喜寿苑)
 介護保険事業所番号 (237200248)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月	50台	令和4年12月1日	

(1) 事業概要及びスケジュール

【事業概要】入居者様の睡眠、覚醒、呼吸数や心拍数の状況をリアルタイムで把握できるため、ベッドからの転倒や圧傷事故の減少、介護スタッフの見守り業務の負担軽減を図る。
 また一定期間のデータを解析することで、入居者様の生活リズムを把握し、ケアの質の向上を目指す。
 【導入スケジュール】
 交付決定後、速やかに導入 (令和5年1月導入予定)
 以降も使用状況の確認を行い、研修等の実施を含め、適正な運用を図る。

(2) 導入する意義・目的

職員の精神的・身体的負担の軽減を図る。
 入居者様へのサービス向上。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- 見守り業務 (特に夜間帯) の効率化を図り職員の身体的、精神的な負担の軽減を図る。
 現状、夜間は基本的に定時での巡視であるが、眠りSCANの導入により覚醒状態を確認しながら、夜間の排泄介助や巡視を行い、巡視回数を見直しを行う。
- 入居者様の睡眠の確保、適切なタイミングでの援助による満足感につなげていく。
- 位置、起き上がり、起床と段階を選んでお知らせ機能を設定できるため、リアルタイムで状況を把握する。動き出してからでなく早めに対応することで、ベッドからの転落事故等の減少を目指す。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- 夜間の巡視、排泄介助を入居者様の状況に合わせて行うことで、見守り業務の見直しができ、入居者様の安眠の確保、職員の負担軽減。
- 入居者様の状況にあったタイミングでの介護が可能になることで介護に対する協力が得やすく、職員の精神的ストレスの軽減と1回あたりの介助にかかる時間の短縮ができる。
- 居室内でベッドからの転倒転落等の事故の減少により、職員の負担感の軽減を図る。
 (事故への精神的な負担だけでなく、事故後の対応、事故報告書の作成等にかかる時間の減少)
 また事故の減少によって入居者様の身体的、精神的な苦痛の軽減、またご家族の安心感につなげていく。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	○
---------	---	--------	---

見守りセンサーの製品名	見守り支援システム「眠りSCAN」		
-------------	-------------------	--	--

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

ICT機器の製品名	タブレット型介護記録システムHIMVIT		
-----------	----------------------	--	--

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

介護記録ソフトの製品名	介護事業者支援システム HOPE LifeMark-WINCARE		
-------------	-----------------------------------	--	--

⑤従前の介護職員等の人員体制

1.6 1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

1.9 1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、職員が使用しているタブレットに情報が入ることで、必要な時に迅速な対応ができる。
 ・眠りSCANのモニターを見ながらタブレットにて介護記録等の入力を行うことで、記録業務の低減、安全な見守りができる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・入居者様の生活リズムの把握を行い、適切なタイミングでの対応をする。
 ・入居者様の状況に応じて夜間の巡視回数を見直すことができ、夜間の業務負担を軽減できる。
 ・夜間の睡眠、覚醒状況をリアルタイムで可視化し、事故の予防につなげる。
 ・呼吸状態や心拍などの状況の把握をし、入居者様の身体状況の変化に早めに気づき、対応することにより重度化の予防を図る。（特にご自分で要望がうまく伝えられない方）
 ・スタッフルームでの業務中であってもPCやタブレットでリアルタイムに情報を確認できるため、職員の業務の効率化が図れる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 清洞会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム レスバート落合)
 介護保険事業所番号 (2370302842)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN (パラマウントベッド)

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月	眠りSCAN 98台	令和4年11月末日	

1) 事業概要及びスケジュール

<事業概要>
 PHSで職員同士が一对一で連絡をしており、ユニット管理者から職員への呼びかけや指示に時間がかかり、管理者への負担も大きい。現在、全職員への一斉連絡の仕組みが無く、利用者に対する迅速なケアが出来ていないためインカムの導入により改善したい。また、離床介助が必要な利用者に対して目視で確認しているため職員の負担も大きい。見守りセンサーを導入し、離床状況の見える化を図る事により職員負担を軽減したい。

<スケジュール>
 令和4年11月中旬 (交付決定後) に購入。約2~3ヵ月で納入・令和5年2月末頃運用開始。

(2) 導入する意義・目的

インカムにより職員の連絡・連携体制の強化。
 眠りSCANにより利用者の状況把握とケアの品質向上、職員の負担軽減。

3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

利用者の容態急変や離床時の対応に従来は10分程かかっていましたが、インカムでリアルタイムに呼びかけができる事により迅速なケアが可能となる。緊急時等の連携はインカムを使う事で対応時間が約3~5分程に短縮する事が出来る。(50%~70%短縮可能)
 また、眠りSCANからインカムへの連動が可能となり、眠りSCANからインカムに直接音声メッセージで離床の通知が届く事でいち早く利用者への対応が出来るようになる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

インカムの導入により全職員一斉連絡が容易になり、リアルタイムに状況が伝わるため、スタッフ同士の連携が図れる。また、スタッフ間の迅速な情報共有により利用者のケガや事故の防止にもつながり、質の高いサービス提供が見込まれる。
 離床介助が必要な利用者に対して職員が目視で確認し対応を行っていたが、眠りSCANの導入により、眠りの深度や体の向きから離床を通知し、職員の負担軽減と利用者の転倒事故防止が見込まれる。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

- ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
- ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN (パラマウントベッド(株))		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	
ICT機器の製品名	クリアトークカム (株)ティービーアイ)		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT、CarePalette (NDソフトウェア(株))		

⑤従前の介護職員等の人員体制

2.3 : 1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

2.8 : 1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・緊急時の応援体制が取れるようになるため、加配が不要となる。
- ・施設内の職員同士が連携を図れるようになるため、夜間の職員の見守り人員配置の削減が見込まれる。
- ・申し送りに係る人員配置を1割程度削減できる。
- ・ナースコールの対応だけでなく、離床に関する対応時間が短縮でき、ケアの質向上に目を向ける事が可能となる。
- ・エリア、ユニット毎の呼びかけにより職員が効率良くケア、サービス提供が可能となる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・利用者の状態把握により転倒・転落などの事故防止の効果が期待される。又、睡眠状態の把握により、覚醒時の排泄介助やおむつ交換が可能となり、利用者の安眠が確保できる。
- ・記録業務の時間帯を見直す事で、残業時間を施設平均30分程度短縮する。
- ・眠りSCANが判別する情報から、夜間の職員が安心して休憩時間を確保でき、精神的な負担の軽減が見込まれる。
- ・緊急時にインカムによる一斉連絡を活用する事で、ユニットから安心して離れる事が可能となり休憩時間を確保する。
- ・利用者のナースコールに対しインカムを使って職員同士が連携し対応する。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム東和荘)
 介護保険事業所番号 (2375700180)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月31日	1台	令和4年12月31日	

(1) 事業概要及びスケジュール

【事業概要】眠りSCANを導入し、入所者の体調管理、看取り時の様子観察に活用し、職員心理的負担や業務負担軽減をするもの。入所者の安眠を妨げることなく、観察をするもの。
 【導入スケジュール】
 令和4年12月 機器導入及び使用説明
 適宜、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施

(2) 導入する意義・目的

眠りSCANを活用することで、体調不良の見守りターミナルケアに活用することが出来る。そういった方への体調管理は、介護者への精神的な負担、しいては肉体的負担も繋がる。離れたところからの観察や、客観的にデータを得ることが出来れば、入所者へ安眠を妨げることなく、より良いケアを提供することができる。業務負担を軽減することで、職員の余裕を生み、しいては入所者へのケアの質向上するもの。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ①眠りSCANを活用した見守り定着し、業務への負担軽減を図る。
- ②眠りSCANを活用したターミナルケアを定着し、ケアの質向上するもの。
- ③業務負担を軽減することで、職員の心理的負担軽減に貢献し、ケアの質向上するもの。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ①眠りSCANを活用し、業務中の精神的身体的負担軽減。
- ②眠りSCANを活用し、入所者の体調管理の質向上。
- ③業務負担を軽減することで、入所者の処遇向上。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認
 ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。	○
--	---

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
見守りセンサーの製品名	見守りSCAN NN-1520		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
ICT機器の製品名	インカム ティービーアイ KX-Z837		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	×	既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	東経システム 福祉見聞録		

⑤従前の介護職員等の人員体制	管理者1名（常勤） 医師3名（非常勤） 生活相談員2名（常勤） 看護職員5.7名（常勤換算） 介護職員33.1名（常勤換算） 管理栄養士2名（常勤） 機能訓練指導員1名（常勤兼務） 介護支援専門員1名（兼務） 事務員2名（常勤） 調理員6.1名（常勤換算） 運転手兼補助員2名（非常勤） ※特養80名分及び短期16名分
----------------	---

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	上記に同じ
----------------------------	-------

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りSCANは、体調不良者の見守りターミナルケアに活用。インカムは従来型の施設であるため、広い施設内での職員間のコミュニケーション等に活用し、人探し、物探しに使用する時間を短縮、短縮した時間を職員の休憩時間や、入所者のケアに充てる。また、ケア中の人探し、物探しは転倒転落のリスクにも繋がるため、転倒転落予防の効果も期待するもの。介護ソフトである福祉見聞録は介護ケア記録・看護ケア記録を管理し、全職員が何時でも確認出来るように設置してある。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

広い施設内を各職員がコミュニケーション及び情報共有し、ケアに当たるのは困難である。そのためのケア記録を電子化し、情報共有をするシステム作りは、長期間実施しており、定着している。個別に体調管理できる機器を導入することで、情報共有がより密になる。広い施設内をカバーするために、コミュニケーション機器導入することで、移動時間等を短縮。職員の人探し、物探しに係る時間を削減し、ケアや休憩時間に充てるもの。介護事故防止の検討の中で、ケア中の転倒転落を予防が必須と判断、インカムの活用で協力要請等未然に防げれば、事後報告等に不随する時間も短縮できる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (愛知メディカルサービス(株))
 介護事業所名 (ソレイユ千種)
 介護保険事業所番号 (2370101368)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	みまもりベッドセンサーシステム

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月	10	2023年2月	

(1) 事業概要及びスケジュール

〈事業概要〉

- 当製品を活用する事により、夜間の業務負担軽減を図ることや、ベッドからの転落・転倒防止や生体反応を確認することで状態把握し、サービス向上に繋げる。

〈スケジュール〉

- 当事業の決定後、Wi-Fi環境を構築、導入をする。
- 当製品の導入時に、メーカーによる使用のための勉強会を開催する。
- 導入数か月後に使用のフィードバックや評価を実施する。

(2) 導入する意義・目的

- 当製品を含め、施設のICT化を図ることで、業務効率に繋げ、余裕のあるケアが出来る事を目的としている。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- 当製品を使用することで参考体重が計測できるので、使用者の体重測定業務をなくす。
- 当製品の使用者のベッドからの転落、転倒防止に繋げる。
- 生体反応を確認することで、どのような状態の入居者も精神的な負担を軽減する。
- 得られたデータより生活状況を把握することで、その人に合ったサービスを提供する。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- モニターを通じ、状態把握することで、介護職員の無駄な訪室を減らす。それにより入居者の精神的安定、睡眠の確保に繋げる。
- 転倒、転落事故を減らす。
- 自動的に参考体重測定ができるため、従来の体重計測の時間を減らすことができる。
- レポート機能活用により、入居者へケアの幅を広げる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。	○
--	---

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	みまもりベッドセンサーシステム		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	
ICT機器の製品名	iPad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン		

⑤従前の介護職員等の人員体制
各フロア日勤帯は介護士2~4名に加え、機能訓練員、ケアマネージャー、看護師が介護のサポートを行っている。

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
機器の運用を基に業務の洗い直しを行い、夜間帯の休憩時間を含め、適切な人員配置を目指す。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

インカムについては以前より導入を検討をしており、他の施設の状況を情報収集している段階である。今回の申請でWi-Fiを構築するのでそれに合ったインカムを選定する事や、現在使用しているタブレット端末を当製品の入居者の状況把握をするモニターとして活用することで、離れた位置からも状況把握をすることを計画しており、介護現場の運用に基づいて人員配置の見直しを推し進める。また、当製品が連携できる介護ソフトメーカーもあるので、その面も鑑みて導入検討をしている。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

有線や簡易的な無線環境の場合、ICT機器を使う事に対して場所等で制約が出てきてしまい、結果的に業務の増加に繋がってしまっている。また、みまもりベッドセンサーシステム等の使用にあたり、無線LAN環境をしっかりと構築する事でどの居室でも使用できるので、万遍なく入居者様へサービスを提供することが出来る。日々、ケアの質の向上を図っているがICT化を図ることで、必然的に情報が増えると予想されるが、それがかえって職員の視野が広がり、当施設の将来のケア向上に繋がるのではないかと考えている。

介護ロボット導入計画書

法人名 (特定非営利活動法人るんるん)
 介護事業所名 (グループホームもうやこ)
 介護保険事業所番号 (2392300188)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠り SCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月31日	2台	令和5年1月31日	

(1) 事業概要及びスケジュール

利用者様の情報 (睡眠、覚醒、おこ上がり、離床、呼吸数、心拍数) をリアルタイムで可視化し、業務の効率化、介護従事者の負担を軽減する。また、状況の合わせてのケアを行うことにより、利用者様に対するケアの質も向上を図る。

整備スケジュール

補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和5年1月整備予定)

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

●利用者様の転倒、転落事故の防止、減少、介護職員の精神的、身体的な負担を軽減させる事を目標とする。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

●利用者様の転倒、転落事故の防止、削減、利用者様への不快感、拘束感を与えない為の配慮、介護職員の精神的、身体的な負担を軽減させる事を目標とする。

(5)適用を受けようとする補助率

1/2 ✓

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

既に導入済み

見守りセンサーの製品名

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

ICT機器の製品名

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

介護記録ソフトの製品名

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (杉友商事株式会社)
 介護事業所名 (グループホームふれんど)
 介護保険事業所番号 (2371600426)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
3月1日	27	12月1日	

(1) 事業概要及びスケジュール

<事業概要>
 見守り支援により業務の効率化を図り、介護職員の負担を軽減するとともに、入居者の状況をリアルタイムで確認し、入居者の見守りを強化し転倒防止を図る。

<スケジュール>
 補助金交付決定後、12月1日に購入契約し、3月導入に向け研修およびご家族やご利用者への説明を行う。

(2) 倫理面への配慮

- ・ご入居者及び家族へ機能と使用目的を説明し、ご理解を頂いた上で適切に使用する。
- ・ご入居者の尊厳、プライバシーを十分考慮し、取得した情報は慎重に管理する。

3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・見守り業務の効率化と職員の負担軽減を図る。
- ・ご入居者の状態 (離床、体動、睡眠など) や変化のモニタリングとデータを活用することで、転倒、転落などの事故発生リスクを軽減させる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・ご入居者の状態 (離床、体動、睡眠など) をリアルタイムで把握できるため、転倒や転落等の事故を軽減できる。
- ・ご入居者の体動の状態や睡眠リズム等の把握により睡眠を妨げることなく個別ケアの充実を図ることができる。
- ・職員の心理的、身体的負担の軽減を図ることができる。
- ・看取り期の方への迅速な対応と職員の負担軽減ができる。

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

×

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

既に導入済み

×

見守りセンサーの製品名

眠りスキャン

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

×

ICT機器の製品名

iPad、スマートフォン

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

×

介護記録ソフトの製品名

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人ごや福祉施設協会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホームごやがハウス居見)
 介護保険事業所番号 (2370800068)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月12日	3台	令和4年12月12日	買取

(1) 事業概要及びスケジュール

「aams」の導入により、援助を効率化し職員の負担軽減を図る。また、心拍や呼吸のバイタルサイン、睡眠の状態を詳細に把握することにより援助の質を向上させ、入所者様の生活の質を向上させる。令和4年12月中旬導入、追加導入のため、職員研修は省略し、導入後使用開始。

(2) 導入する意義・目的

援助を効率化し職員の負担軽減を図る。また、心拍や呼吸のバイタルサイン、睡眠の状態を詳細に把握することにより援助の質を向上させ、入所者様の生活の質を向上させる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

入所者様の睡眠状況を把握し、同一時間の一律の援助ではなく、個々の状況に応じた個別のケアを提供する。また、ご利用者の状況を詳細に一元的に把握することにより、職員の負担を軽減する。
 バイタルサインを詳細に把握することにより、看取り対応時などにデータに基づいた適切な援助を提供するとともに、職員の心理的負担を軽減する。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

詳細なデータによる個別ケアの推進とケアの質の向上。
 ご利用者個々の状況の一元的管理を可能にし、職員の身体的・精神的負担を軽減することによる、職員の定着。

(5)適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。	
--	--

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

--	--

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

--	--

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 愛知県厚生事業団)
 介護事業所名 (愛厚ホーム小牧苑)
 介護保険事業所番号 (2373800073)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	エスパンアKA-N1811F (パラマウントベッド)

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月	55	令和4年12月	

1) 事業概要及びスケジュール

ベッド内蔵型離床センサー・離床CATCHIII搭載型ベッドを施設の主力ベッドとして導入することで、利用者の動向に合わせた起き上がりや離床の動作を把握して、利用者の夜間の状態把握や見守り業務の効率化を図る。

導入スケジュール
 令和4年 9月 補助金申請
 令和4年12月 ベッド導入

(2) 導入する意義・目的

同型の離床センサー内蔵型ベッドを多く配置することで、利用者の入退所が多く、体調変化もある特別養護老人ホームにおいて、介護員が利用者のベッド変更などを伴わず、同じ操作、少ない負担で見守りセンサーを適宜設定することができ、業務の効率化と利用者の安全確保の両面が期待できる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ①利用者の転倒及び転落事故の減少及び早期発見
- ②介護員の身体的・心理的負担の軽減

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ①利用者の日常の動作に合わせた設定をすることで、起き上がりや離床などより正確なナースコール設定が可能となり、転落や転倒事故が減少し、発生してしまった場合も早期発見につながる。
- ②利用者が必要とする時 (起き上がりや離床時) にナースコールとして作動するため、介護職員の見守り等の身体的・心理的負担を減少させることが出来る。
- ③同型のベッドを多く揃えることで、現場で実際にその設備を管理・運用する大勢の介護職員にとって使用しやすい慣れたものとなり、業務の効率化が図れ、上記の目標を達成しやすくする。

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム川名山荘)
 介護保険事業所番号 (2370701902)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月1日	10台	令和4年12月1日	

(1) 事業概要及びスケジュール

【事業概要】
 見守りロボットの増設により、より多くの利用者の睡眠状態や生活リズム、危険行動の状況について、プライバシーや尊厳に配慮しながら安眠や安全を確保し、快適な施設生活を支援する。

【導入スケジュール】
 令和4年 12月 (交付決定) (交付決定後、速やかに発注)
 納品 (機器の設置)
 運用開始

(2) 導入する意義・目的

介護職員個々の想いや価値観で支援をすることにより、統一したケアが困難となり、必要以上の業務が発生してしまうことがあります。科学的なデータを活用する事で、支援内容に共感が生まれ統一したケアに繋がります。多職種にも理解が生まれ連携がより強化され、それがご利用者個々のQOLの向上に繋がります。同時に職員の業務の効率化が出来て負担軽減に繋がります、職員・ご利用者双方に良い影響をもたらす。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ①介護職員の見守り業務における心身の負担を軽減させる。 [業務効率化・離職防止]
- ②ご利用者の夜間の睡眠を妨げないように支援をする。また職員や夜勤職員の業務の効率化、身体的・精神的負担の軽減を図る。 [顧客満足度・業務効率化・離職予防]
- ③居室での転倒転落事故の発生件数を減少させる。
- ④ICTを活用した科学的介護の実践に活用し、適切な支援を行う [業務効率化・利用者満足度向上]

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・睡眠や生活リズムの把握と共に、個室内での起居・離床動作を可視化することで、適切な支援方法が選択でき、介護事故の減少につながる。
- ・夜間の職員配置が少ない時間帯に、効率的に巡視ができ、効果的な利用者対応ができる。また、利用者の安眠確保にもつながる。
- ・看取り期の利用者の状態が把握することで、職員の精神的負担や具体的な家族支援が行える。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

見守りセンサーの製品名

眠りSCAN ((株)パラマウントベッド)

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

○

ICT機器の製品名

iPad (Apple)

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

高齢者介護システム 絆core ((株)内田洋行)

⑤従前の介護職員等の人員体制

介護職員：利用者定員/1.86：1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

介護職員：利用者定員/2：1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りSCANを活用して、各利用者の睡眠・生活パターンを把握し、個々のリズムに合わせて起居・就寝・排せつ等を支援すること、iPadやステーションのパソコンモニターを通じて見守りを行い、必要に応じて定期巡視（訪室）することをマニュアル化し、介護ロボットの効果的な運用と業務の効率化を図る。
上記の運用を実施したうえで、業務時間調査を行い、職員補充時は必要な時間帯を把握して部分的な補充を行う。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

上記の業務効率化を進める事によって、利用者とは直接関わって支援できる時間を増加させ、ケアの質の向上に取り組む。具体的には、利用者の要望に沿った支援を行ったり、コロナ禍により活動が制約される状況のなか、生活が不活発とならないよう、日常生活動作のなかでの動作補助（生活リハビリ）や余暇活動（レクリエーション）を行ったりする等、利用者のQOLやADLの維持向上に努める。
また、業務効率化により職員の休憩時間の確保と共に、職員教育や研修の時間を創出し、介護ロボットの有効活用やエビデンスに基づいたケア実践について、知識や技術を深める事で、より効果的に介護ロボットやICTの活用、科学的な介護実践の定着を図る。

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社マザーズ)
 介護事業所名 (グループホーム円頓寺北館)
 介護保険事業所番号 (2370401446)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月1日	18台	令和4年12月1日	—

(1) 事業概要及びスケジュール

事業概要
 見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。
 また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

導入スケジュール
 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年度 12月導入予定)

(2) 導入する意義・目的

利用者様への適切でタイムリーなサービス提供、及び職員の業務効率化と負担を軽減するため

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

2021年度平均月間労働時間2200時間を100時間削減し、2100時間を目標とする
 年間有給休暇平均取得率を50%から70%に向上させる

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・入居者様の状況に合わせたケアを行えるため、ケアの質の向上や入居者様ごとに合わせた個別ケアが実現できる。
- ・入居者様を無駄に起こすことがなくなるため、入居者様の睡眠時間を確保できるようになる。
- ・入居者様の睡眠時間確保できるようになれば、入居者様からのコールの回数や呼出しが減るため、スタッフの休憩時間確保につながる。
- ・巡視方法の変更により、巡視にかかる時間が大幅に減るため、今までできなかった他業務に時間を回すことができる。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	○
ICT機器の製品名	Ipad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT		

⑤従前の介護職員等の人員体制

18名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

16名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。
 ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、夜勤者が携帯するスマートフォンに動きのあった入居者様の情報が入り、タイムリー且つ必要な際にのみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えていき、効率化を推進する。
 ※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。
 余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行う。

・スタッフルームや休憩室にいる間もPC, モバイル端末にて、リアルタイムの各入居者様の情報を確認する。

・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」に変更する。

※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人和光会)
 介護事業所名 (介護老人保健施設清風苑)
 介護保険事業所番号 (2354580009)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月1日	3台	令和4年12月1日	

1) 事業概要及びスケジュール

【事業概要】
 見守り支援システム「眠りSCAN」を使用する事により、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化、介護従事者の負担を軽減する。また状況に合わせてのケアを行う事により、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。昨年、先行して2台導入しているが、スタッフからも好評であった為、今回増台する事を決定致しました。
【導入スケジュール】
 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年12月導入予定)

(2) 導入する意義・目的

見守り支援システムを導入する事により、個々のスタッフが機器を活用する事で自らの業務の省力化につながる事を体感し、今後はICT機器をより積極的に活用する事が更なる職場環境の向上につながるという事の意識を浸透させる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

リアルタイムに可視化される利用者様の状況に合わせて、個別ケアを充実させ、ご利用者様の夜間の睡眠を妨げない(無駄な訪室を避ける)様な介護業務を展開する。また、夜勤職員の業務の効率化、精神的・身体的な労務負担を軽減させる事を目標とする。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

・利用者様の睡眠・呼吸・心拍状況のリアルタイムな把握及び管理。
 の睡眠状況に合わせた個別ケアの実践。
 身体的な負担軽減 (夜勤時における休憩時間の確実な確保)。
 ・利用者様
 ・夜勤職員の精神的

(5)適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認
※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人ケアマキス)
 介護事業所名 (特別養護老人ホームケアマキス柴田)
 介護保険事業所番号 (2371201985)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月1日	10台	令和4年12月1日	

1) 事業概要及びスケジュール

・事業概要
 眠りSCANを使用することにより、入居者の生活情報(睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数)をリアルタイムで可視化して把握することで適切な生活支援につなげる。
 (導入スケジュール)
 令和4年9月 申請
 令和4年12月 導入・運用予定、職員に対する使い方の説明

(2) 導入する意義・目的

眠りSCANを入居して間もない方や夜間に眠れていない方、看取りの方などに対して使用することにより生活情報を把握して適切な生活支援につなげる。また、特に夜勤介護従業者の精神的負担を軽減する。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

入居者の睡眠や呼吸、心拍の状態を可視化してデータ化することで入居者の生活情報を把握して適切な支援につなげる。
 把握した情報を多職種が共有して根拠をもった生活支援内容につなげる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

入居者の生活情報(睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数)を適宜把握できる。
 夜間帯の睡眠状況を把握し、日中の活動量調整の参考にすることができる。
 夜勤介護従業者の精神的負担軽減が期待される。

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入変更計画書

法人名 (医療法人香徳会)
 介護事業所名 (グループホームよつば)
 介護保険事業所番号 (2371501251)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りセンサーANSIEL

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月23日	18台	令和5年3月15日	

<p>(1) 事業概要及びスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 睡眠状況やバイタル等を見守りセンサーにて可視化することで適切な支援に繋げる。 入居者の予兆動作を早いタイミングで検知することで、転倒・転落を未然に防ぐことができる。 介護記録ソフトと連携することで、職員の業務効率を向上させることができる。 ・スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。
<p>(2) 導入する意義・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の睡眠状況を把握して適切な支援に繋げる。 ・入居者の動き出しを早期に発見する。 ・タブレット・スマートフォンに通知することで、巡視中でも早期対応が可能となる。 ・介護記録ソフトと連携することで職員の業務負担の軽減を図る。
<p>(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な介護の支援により入居者のQOL向上。 ・転倒、転落を未然に防ぎ、入居者が安全で安心して生活を継続することができる。 ・介護記録にかかる業務負担の軽減。
<p>(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間、居室内での状況をより細かく把握でき、適切なタイミングで支援を行うことができる。 ・転倒、転落を早期に対応・予防することで、安全・安心した生活環境を提供することができる。 ・職員の精神的、肉体的負担の軽減と、業務負担が軽減することで、職場環境が改善できる。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
---------	---	--------	---

見守りセンサーの製品名	見守りセンサーANSiEL		
-------------	---------------	--	--

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
---------	---	--------	---

ICT機器の製品名	AQUOS wish2		
-----------	-------------	--	--

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	○
---------	---	--------	---

介護記録ソフトの製品名	ワイズマンシステム すぐろくTabret		
-------------	----------------------	--	--

⑤従前の介護職員等の人員体制

3 : 1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

3 : 1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・ネットワーク環境を構築し、見守りセンサーをスマートフォンと連携することにより、夜間少ない人員体制でも効率よく見守り業務ができる。
- ・見守りセンサーを介護記録ソフトと連動することで転機等が不要となり業務効率が上がる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・入居者の睡眠状況を把握することで、適切なタイミングで支援を行える。
- ・転倒、転落を未然に防ぐことで、安全で安心した生活を過ごすことができる。
- ・見守りセンサーを介護記録ソフトと連動することにより、業務効率改善に繋がる。
- ・業務効率が改善されることにより、職員の精神的、身体的な負担が軽減され、職場環境が改善できる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 稀豆福祉会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホームレンジンス府輪)
 介護保険事業所番号 (2399200114)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN (NN-1520)

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月	17台	令和5年2月	

(1) 事業概要及びスケジュール

現状：離床センサーマットを導入し、ベッドからの転倒予防及び居室での転倒予防に努めているが、このシステムはピッチを持っている職員にしか知らせる事ができない。
 課題：ピッチを持っていない職員にはセンサーマットが鳴っても察知することができない。
 解決策：新たに眠りSCANも導入し(補助金交付決定後速やかに)、離れた食堂においてピッチを持っていない職員もパソコンで本人の状態を観察しベッドからの転落等を防ぐ。
 (令和5年2月整備予定)

(2) 導入する意義・目的

ベッドでの利用者の体動を迅速に把握し、転落を防ぐ。さらに本人の睡眠リズムを把握することによりより良いケアを目指す。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

眠りSCANに対する対応を早くする事により、利用者の居室内での転倒事故を減少させる。
 睡眠リズムや呼吸、脈拍数を把握することによりサービス改善につなげる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

夜勤帯など食堂で記録を記入しながら、利用者がベッドで寝ている時の状態観察することにより、巡視の回数を減らすなどの業務負担ができる。
 また、眠っている時の状態(睡眠サイクル、呼吸、脈拍等)を把握しケース会議で検討しより良いサービス提供ができる。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

③

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

○

既に導入済み

×

見守りセンサーの製品名

眠りSCAN (NN-1520)

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

○

既に導入済み

×

ICT機器の製品名

(株) ティーピーアイ インカム (WFDI-TC3)

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

×

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

エーケービジネス (株) ケアポケットくん

⑤従前の介護職員等の人員体制

2ユニット (協力ユニット) の介護職員数
常勤7名 (夜勤行方)、嘱託1名 (8時間)、非常勤2~3名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

2ユニット (協力ユニット) の介護職員数
常勤6名 (夜勤行方)、嘱託1名 (8時間)、非常勤2~3名
※余った職員を介護リーダーとして自由に各フロアを行き来できる職員配置にしていきたい。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

現状の課題（効率の悪さ）

- ・離床センサーや新たに購入する眠りSCANが鳴った場合、ピッチを持っている職員と近くを通りがかった職員が同じ居室を訪室している。→近くを通りがかった職員が対応とのルールにする。
- ・利用者コールに対して、他の介助で手が離せない状況になっていても応援を呼ぶことができず、一度その介助を中途半端な場面でやめ現場に向かっている。→その場合の応援システムをルールにする。
- ・新人職員などが迷ったり、あるいは指示を受けたい時に、わざわざ他の職員に応援を依頼してからその場を離れている。→インカム活用による相談指示とし職員の動線を短くする。無駄な動きはしない。
- ・記録入力時間がとりずらく残業になってしまう。→しっかり応援体制を作り効率的な介護により、介護記録入力時間をとって職員の負担を軽減する等々業務の効率の悪さを改善する。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・インカムと眠りSCANを活用し、すぐ他職員を呼ぶ事ができることで、2名での介助がやりやすくなるので利用者の転倒防止や安心感と職員の身体的負担を軽減させる。
- ・睡眠サイクルを把握することにより効率的な介護手段を選択し業務負担を軽減する。
- ・職員間のノートによる申し送り事項は手間と時間のロスがでる。今起こった事をすぐさまインカムで報告し他職員（看護師、生活相談員、栄養士も含め）との情報共有を行いその時の適切な利用者へのケアを行う。
- ・上記のように業務を行いながらの情報共有による効率化を図り、会議等の時間短縮、休憩時間の確保を行う。可能であれば、職員の有給休暇取得日数を増やす。
- ・職員間の日頃のコミュニケーションを深め、お互いの意見などをインカムで話し合う事を習慣とし業務の効率化を図り残業をしない職場環境を目指す。
- ・1名介助でやってることを、互いに連絡をとりあうことにより2名で対応できないか検討し職員の腰痛予防に努める。
- ・逆に現在2名でやっている、記録業務等の周辺業務を1名で行う

介護ロボット導入計画書

法人名 (有限会社 あかり)
 介護事業所名 (グループホームあかり)
 介護保険事業所番号 (2392300121)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	みまもりベッドセンサー

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
R4年12月	3	R5年2月	-

(1) 事業概要及びスケジュール

R4年 8月	見守り機器のお試し利用会を実施
R4年1 1月	内示発表後、契約・導入準備 無線LAN環境を改善する工事の実施
R4年1 2月	無線LAN工事・みまもりベッドセンサーの稼働開始
R4年1 2月	介護記録ソフト「ほのぼの」を導入 研修会を実施・導入アドバイザーより個別に指導を受ける
〃	バイタル記録など数値記録の入力からスタート、1ヶ月単位で記録を手書きからデジタル化へ移行

(2) 導入する意義・目的

- ① ご利用者の安全確保のため見守る目を強化する。
- ② 重度化したご利用者の健康状態の細やかな把握をする。
- ③ 職員の重複記録の負担を軽減する。
- ④ 介護記録システムとの連携により客観的事実を活かして納得感のある教育・指導を行う。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ① 居室内における転倒や転落の事故を未然に把握し防ぐことができる。
- ② 経験の浅い職員の夜勤やターミナルケアにおける不安などのストレスを軽減し離職率を改善する。
- ③ 介護記録に掛ける時間の縮小で直接ケアに掛ける時間を増やす。
- ④ 職員個々でばらつきのある感覚的な気付きの情報に、テクノロジーを加えた客観的事実に基づいた情報を融合する事で、職員への教育・指導を効果的に行い質の向上が出来る。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

小規模法人で慢性的な人手不足の課題がある中で、死角を補う見守りの目をテクノロジーで補う事によって職員に掛かる精神的負担の軽減や、課題発見・解決につながる情報の獲得に大きな効果が見込まれる。客観的事実に基づいた対応改善により、事故や体調不良の早期発見だけでなく重度化した際でも最期まで馴染みの環境で暮らせるターミナルケアの実践により稼働率が向上し、事業所の安定的運営にも十分な改善効果が見込めると考えている。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。	○
--	---

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	みまもりベッドセンサー		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	
ICT機器の製品名	iPad・Inspiron 14		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT (NDソフトウェア)		

⑤従前の介護職員等の人員体制 9名のご利用者に対して1日平均3.3名の職員配置（夜勤含む）

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 9名のご利用者に対して1日平均4.0名の職員配置（夜勤含む）

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

管理者自身のICT機器への苦手意識から一切活用することができていない。そのため介護職員を平均4.0名確保を目指し、体制を確保することで負担の軽減を図ってきたが、慢性的な人手不足に陥り職員の残業などの対応で補い続けてきた。それでも不足する状態が続くため業務の優先順位による提供サービスの縮小を余儀なくされた対応を行っている。現在テクノロジーの力を借りる必要性を痛感するようになった。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

現在は職員一人一人のスキルアップを図るため、管理者自身が講師となり、またさまざまな研修へ職員を派遣し質の向上に努めてきた。
 休憩時間は、お互いが協力する形で休憩時間を取るよう心がけてきた。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人春岡会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム奥町)
 介護保険事業所番号 (2372205399)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン パラマウントベッド(株)

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月1日	50	令和4年12月1日	

(1) 事業概要及びスケジュール

・事業概要

見守りシステムを導入することにより、入居者様の体動(寝返り、呼吸、心拍など)や睡眠などの状態をパソコンでリアルタイムで確認する事で、転倒、転落の事故発生リスクの軽減と介護職員の身体的、精神的な負担の軽減を図ります。
 ・導入スケジュール
 補助金交付決定後、12月導入予定。使用方法のマニュアルにて導入時に取り扱い説明会を実施する。

(2) 導入する意義・目的

・意義

職員
 人数が少ない時間帯でも、入居者様へのケアの質が低下する事を防ぐため介護ロボットの活用をしていく。

・目的

介護ロボットを利用することで、介護者の身体的、精神的負担の軽減を図り離職を予防する。また入居者様の健康状態の把握、事故防止に繋げ安心して生活できるように活用する。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

・見守り業務を効率化し、介護職員業務の負担軽減を図り満足度を向上させる。
 ・入居者様の状態(離床・体動・睡眠など)や変化のモニタリングとデータの活用をすることで、転倒、転落の事故発生リスクを軽減させる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

・入居者様の心拍数、呼吸、睡眠リズム等の把握による個別ケアの充実
 ・転倒、転落事故の減少
 ・訪室確認を減らすことによる入居者様の睡眠の確保
 ・看取り期の迅速な対応
 ・介護職員の身体的、精神的な負担軽減

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認
 ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。 ○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
---------	---	--------	--

見守りセンサーの製品名	(株) パラマウントベッド 見守り支援システム「眠りSCAN」		
-------------	---------------------------------	--	--

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

ICT機器の製品名	NEC PCVKT12SGGX4M4タブレット		
-----------	-------------------------	--	--

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

介護記録ソフトの製品名	(株) ブルーオーシャンシステム 「Blue Ocean・Note2」		
-------------	-------------------------------------	--	--

⑤従前の介護職員等の人員体制 1.9:1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 2.1:1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・「眠りスキャン」を導入する事で、現在使用しているタブレットと連動して転倒のリスクのある入居者様、認知症のある入居者様、看取りの終末期の利用者様等への日中帯並びに夜間の居室にいる利用者様の状況が移動時にも確認できる。また夜間の職員数が少ない時間帯にも見守りセンサーを活用する事により、1時間おきの巡視や2時間おきの巡視の時間が低減される。また現在利用している、介護ソフトがインストールされているタブレットを活用することで現場で直ぐに記録ができるようになる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・夜間の巡視の際に入居者様を起こしてしまうことが無くなり、入居者様の安眠が提供できる。 ・入眠や離床状況をデータで確認できることで、適宜な排泄ケア等の対応できるようになる。 ・センサーにより、動作不安定な入所者様や認知症の入所者様が離床した事がすぐに分かる事や、心拍や呼吸状態の変化による緊急時を教えてくれるので介護職員の精神的な負担が軽減できる。
 ・夜間の巡視回数を削減する事により、夜勤者の休憩時間を2時間連続で確保する事が可能となる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社 ライフタップ)
 介護事業所名 (くるみの木稲沢)
 介護保険事業所番号 (2373902226)
 サービス種別 (徳k亭施設入居者生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	aams. 介護セット

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年11月	35台	令和4年11月	

1) 事業概要及びスケジュール

事業概要…「見守り介護ロボットアアムス B018-AAMSKS」の導入により、入居者様の生活リズムの把握することにより、個別ケアの取り組みや、アラートによる転倒転落事故の予防により入居者様の安全を確保します。又、見守り業務の補助、効率化を図り介護者の負担軽減につなげ、より質の高いサービスの提供を行う。

導入スケジュール…令和4年9月申請
 令和4年11月導入予定

(2) 導入する意義・目的

入居者様の生活リズムを把握することができるため、施設サービス計画の見直し役立つほか、アラートにより転倒転落リスクの軽減や不要な訪室の減少により夜間の睡眠の妨げにならない等、生活の質を向上させることが出来る。また、業務を効率化することができ、職員の負担軽減、サービスの質の向上につなげる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・入居者様の生活リズムの把握により、個別のケアの実践を行う。
- ・見守り介護業務の効率化を図り、職員の業務負担の軽減を目標とする。
- ・見守りシステムを効率的に使用することにより利用者様の状況を把握し、転落転倒事故を減らし、利用者やご家族に安心を提供し、介護サービスの向上を目的とする。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・入居者様の生活リズムの把握により、生活の質を向上させることができる。
- ・危険動作の予兆の検知ができるようになることにより、転倒事故のリスク軽減ができるようになる。
- ・転倒、転落を検知することで、早く介助できる。
- ・訪問回数を軽減することにより、入居者様の安眠の確保がされる。
- ・介護職員の業務負担軽減により、職場環境が改善される。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
---------	---	--------	---

見守りセンサーの製品名	aams.介護セット		
-------------	------------	--	--

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
---------	---	--------	---

ICT機器の製品名	Apple iPad		
-----------	------------	--	--

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
---------	---	--------	---

介護記録ソフトの製品名	ワイズマンすぐらくTablet		
-------------	-----------------	--	--

⑤従前の介護職員等の人員体制	利用者人数:35人 日中職員数:13人		
----------------	---------------------	--	--

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	利用者人数:35人 日中職員数:12人		
----------------------------	---------------------	--	--

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサー、介護記録ソフトの連携により、日中夜間の生活リズム（呼吸、心拍、睡眠のリズム等）を視覚的に把握するだけでなく、記録化することもでき、職員間の情報共有や負担軽減、ご家族様への情報提供などがスムーズに行えるようにする。
異常を検知した際のアラートにより、より素早く対応することができるようになる。
タブレット端末による記録入力の簡素化により、職員の業務軽減、質の高いサービス提供を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

入居者様の体調の変化を即座に察知することができ、職員間の迅速な情報共有により、質の高いサービスを提供することができる。
リスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、休憩時間の確保等安心して業務に当たれる職場環境の整備の実現を図る。
記録入力の簡素化により、業務の効率化、負担軽減を図る。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人エール西尾)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム三和の里)
 介護保険事業所番号 (2893200213)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月1日	1	令和5年1月10日	

(1) 事業概要及びスケジュール

地域密着型介護老人福祉施設入所者介護 特別養護老人ホーム
 現在、全29床のうち16床が眠りスキャン使用中。
 今後、全床での使用を計画している。

(2) 導入する意義・目的

- 支援職員の介護ストレスの軽減
- 利用者の転倒予防と安否確認
- 利用者の健康管理と体調変化の早期発見

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- 支援チームが眠りスキャンの使用法、情報収集についての知識を熟知し、共有できる環境を作り、介護従事者の負担軽減を図る
- 収集したデータが使用利用者の課題改善のためのエビデンスとして活用できる

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- 夜勤従事者の業務軽減・ストレス軽減を図る (夜間時の排せつ介助・室内での転倒リスク軽減等)
- 新規利用者の生活のリズムを把握し、以後の個別支援計画のモニタリングに活用
- 眠剤薬効の評価・課題となるBPSD (転倒予防・昼夜逆転・不眠等) の適切な対応
- 看取り対象者や体調不良者の状態観察や早期発見
上記課題のエビデンスとしての資料となる

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人あやめ会)
 介護事業所名 (グループホームかえで)
 介護保険事業所番号 (2395700111)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月	18台	令和4年12月26日	

(1) 事業概要及びスケジュール

令和4年12月中に機材購入
 令和4年12月中に業者よりロボット説明を受け、設置を行う。
 令和5年1月より運用開始

(2) 導入する意義・目的

見守りの安全性を強化する。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

介護職員の負担を軽減させることによって職場環境の改善を図る。
 利用者様の睡眠時間や質を把握し、改善に繋げるためのデータとして活用を行う。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・介護職員の負担を軽減させることによって職場環境の改善を図る。
- ・利用者様の睡眠時間や質を把握し、改善につなげるためのデータとして活用を行う。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認
 ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	×	既に導入済み	○
ICT機器の製品名	すぐろく		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	×	既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン		

⑤従前の介護職員等の人員体制 16名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 16名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

居室で過ごす利用者様の睡眠・覚醒・起き上がり・離床がわかるので利用者様の状態に合わせたケア・見守りが可能になります。特にスタッフの少ない夜間帯に約立ます。また介護ソフトと連動する事が出来る為、介護記録の登録の効率化も図る事が可能です。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者様の呼吸数、心拍数の長期変動を記録することが出来る為体調変化にも敏感にとらえる事が可能です。その為異常時の早期発見にも役立ちます。スタッフルームで全居室の利用者様の状態が把握できるため必要以上の巡回が必要なくなり休憩時間の確保にも繋がります。また携帯電話にも通知する事が可能であり、職員が他利用者様の対応中でスタッフルーム不在時でも利用者様の状態が把握でき、リスクの軽減に役立ちます。

介護ロボット導入計画書

法人名 (D&M株式会社)
 介護事業所名 (ソレイユ ビラ大門)
 介護保険事業所番号 (2372103727)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年3月	50台	2023年2月	

(1) 事業概要及びスケジュール

事業概要
 「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

導入スケジュール
 補助金交付決定後、速やかに導入する。（2023年 3月導入予定）

(2) 導入する意義・目的

職員の精神的・身体的負担の軽減。利用者への提供サービスの質の向上。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標（導入後3年間）

- リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、見回り業務、排泄ケアを行う。
- リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、見回り業務を約30%低減し、夜勤職員の負担を軽減をさせる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- 利用者提供サービスの向上。
- 職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
---------	---	--------	--

見守りセンサーの製品名 眠りSCAN

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	
---------	---	--------	--

ICT機器の製品名 iPad

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
---------	---	--------	--

介護記録ソフトの製品名 ほのぼのNEXT、CarePalette (NDソフトウェア株式会社)

⑤従前の介護職員等の人員体制 2.3:1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 2.7:1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。
- ・「眠りSCAN」の通知機能、ICT機器を活用し、タイムリー且つ必要な際のみ職員が対応に動くことができるため、従来の巡視方法を見直すことにより、見回り業務を減らす。
- ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。
- ※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。
- 余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、利用者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、iPadにてリアルタイムの各入居者様の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につなげる。
- ・夜勤者の訪室回数を減らし休憩時間の確保につなげる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知育児院)
 介護事業所名 (寺別養護老人ホーム南山の苑)
 介護保険事業所番号 (2370700094)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月26日	10台	令和4年12月26日	

(1) 事業概要及びスケジュール

<事業概要>

センサーで得られたご利用者の体動 (寝返り、呼吸、心拍など) や睡眠などの状態をパソコンでリアルタイムに確認することで、転倒、転落の事故発生のリスクの軽減と見守り業務の負担軽減を図ります。

<導入スケジュール>

・補助の内示後、12月導入予定、導入時に取り扱い説明会を実施。

(2) 導入する意義・目的

・ご利用者の状態の見える化による事故や体調変化への予測と早期対応や、夜間帯における職員の心理的、身体的負担の軽減

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

・見守り業務の効率化と職員の負担軽減を図る。
 ・ご利用者の状態 (離床、体動、睡眠など) や変化のモニタリングとデータの活用をすることで、転倒、転落の事故発生のリスクを軽減させる。
 ・体調変化への早期対応

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

・職員の心理的、身体的負担の軽減
 ・看取り期のご利用者への迅速な対応と職員の負担軽減
 ・転倒、転落事故の軽減
 ・ご利用者の体動の状態や睡眠リズム等の把握による個別ケアの充実

(5)適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の 3 / 4 の要件の確認

※補助率 3 / 4 の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組